

小値賀町敬老事業関係アンケート集計結果について

小値賀町では、高齢者の敬老事業として「活いき敬老パス事業」「敬老祝金事業」を実施し、町単独で支出しています。現在、事業開始から１０年以上経過していますが、広報誌や地区説明会などでもお知らせしているとおり、令和８年度から予約型バス（デマンド）が始まることや町の財政状況等を考慮し、今後の敬老事業について見直しも含めた検討をしており、今回アンケート調査を実施しました。

アンケート集計結果について、公表します。

【アンケート期間】

令和７年９月１９日～令和７年１０月２４日

【アンケート集計結果】

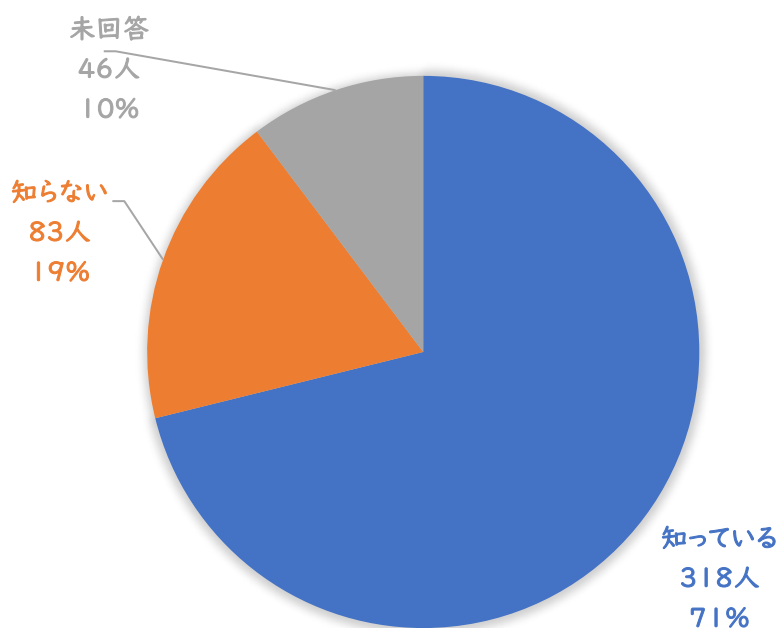
配布数 ６００人（老人クラブ会員数）

回答数 ４４７人

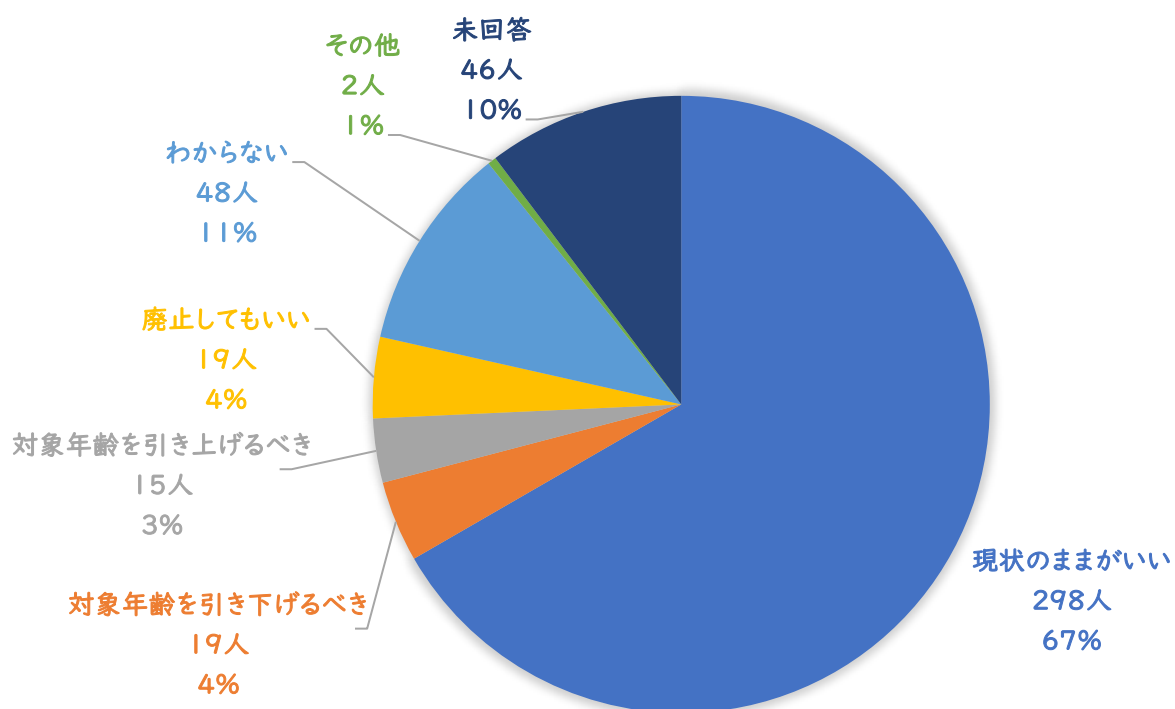
回答率 ７４．５％

敬老パスについて

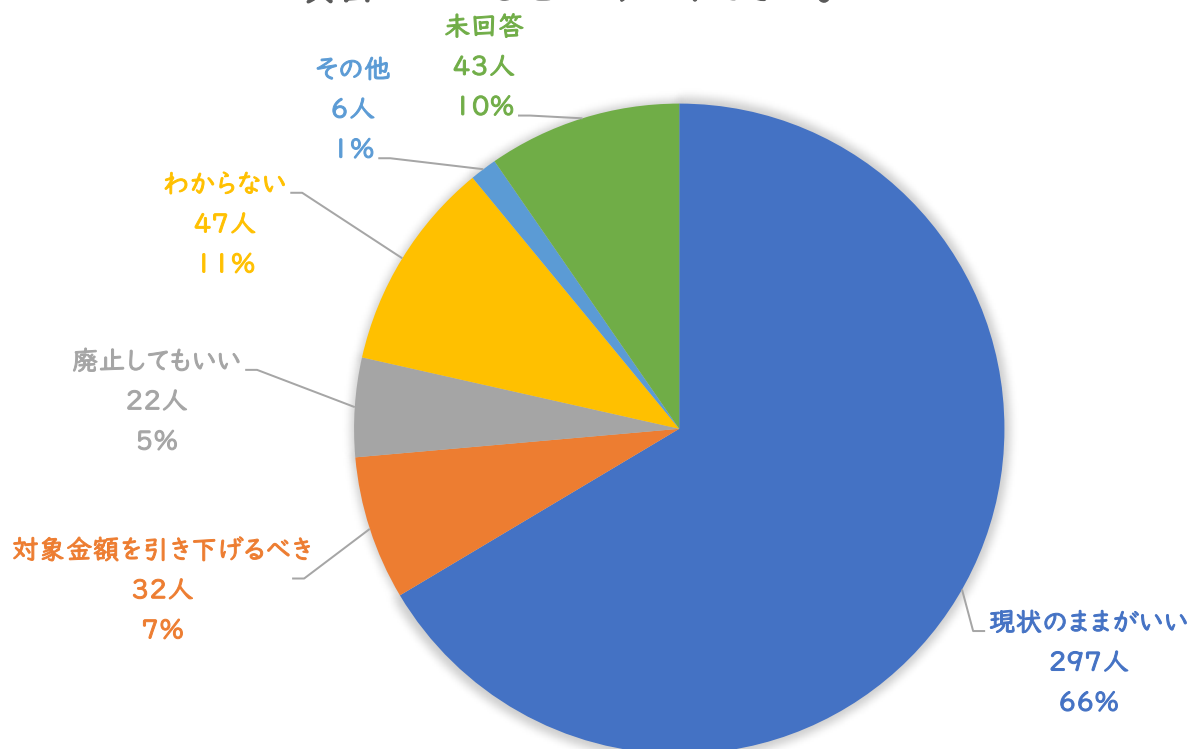
問１ 町が敬老パス事業を行っていることをご存知ですか？



問2 敬老パスの対象者について、あなたの考えに当てはまる項目1つに○をつけてください。

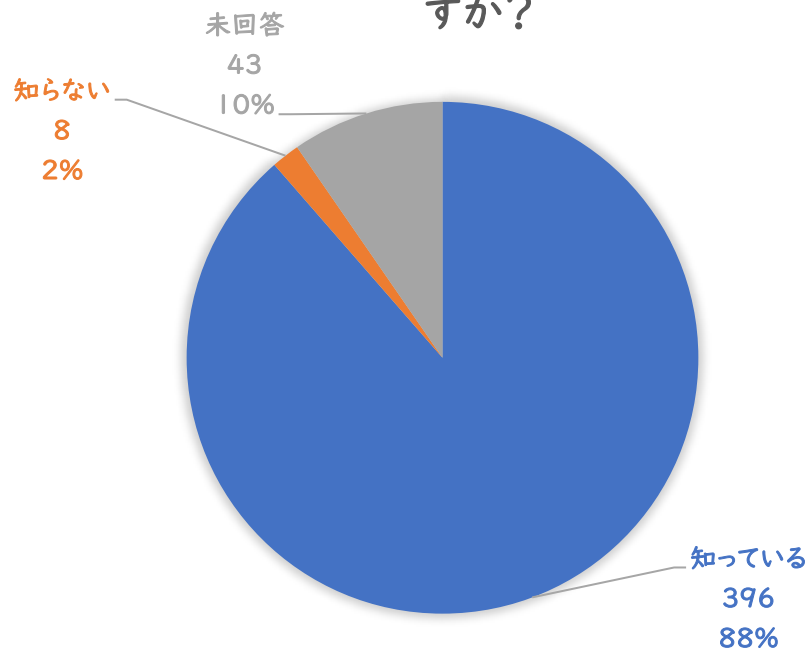


問3 敬老パスの対象料金について、あなたの考えに当てはまる項目1つに○をつけてください。

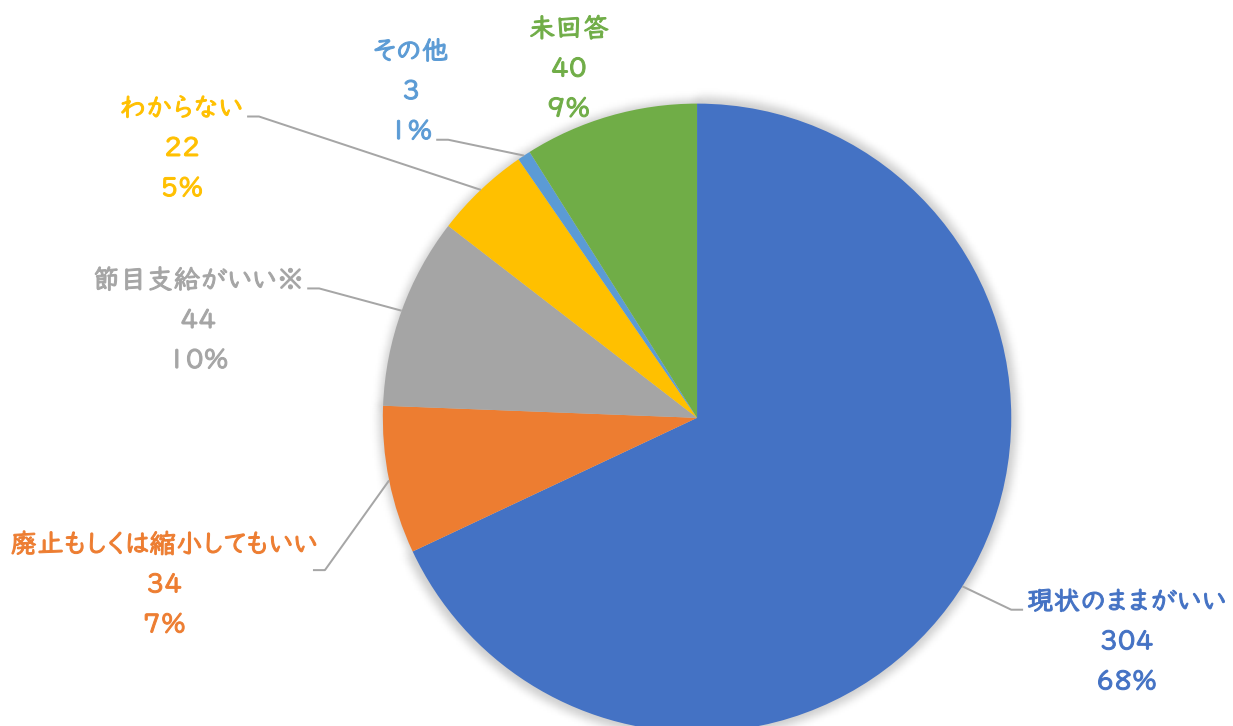


敬老祝金について

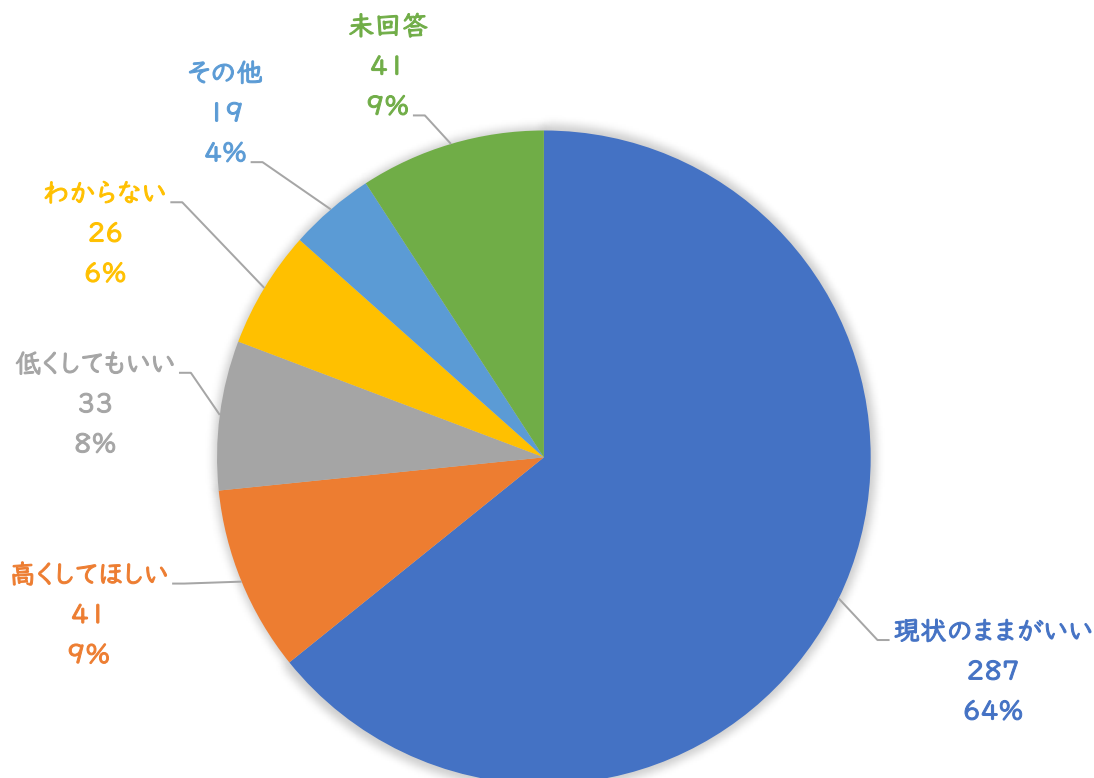
問1 町が75歳以上の高齢者に敬老祝金を支給していることをご存知ですか？



問2 敬老祝金の対象年齢について、あなたの考えに当てはまる項目一つに○をつけてください。



問3 敬老祝金の支給金額について、あなたの考えを教えてください。



自由記述 ※アンケートと関係ない記述もそのまま記載しています

予約型バスや町の財政状況が厳しいことと敬老事業を直接関連付けることは少し無理があるように感じます。デマンド化を進める時に敬老事業の見直しについても協議されたのでしょうか？その時の意見集約によって今回のアンケートとなったのなら理解できますが…。

高齢者によっては年金が高かったり貯蓄があったり（資産）高低差が多々あります。との話を耳にします。若い世代子育て世代に支援すべきだとおもう。

高齢者としては色々な事業をしてもらう事はありがたいです。

町単独でこのような事業をされていることはとても素晴らしいことだと思いますが財政状況を考慮されるということであれば受給される年齢を段階的に分けてみる。例) 75才～80才 80才以上～ バス使用時75才～80才未満有料100円(例えば) 80才以上～無料 敬老祝金 75才以上～80才未満 80才以上の半分 80才以上～ 現状または6000円→5000円 ※多少の反発はあると思いますが腸の現状と未来ある子ども達への為にご協力していただく。

せめて、バス代ぐらいは自己負担したいと思います。祝金も始めてから大分たつのでそろそろ考えるころかとも思います。老人の人口が増えているので町の財政にも大きな負担になっているのではと思います。

月1回位のターミナルまわりの掃除をする。強制ではなく希望者のみ。※なつかしく会える事もできる。

本当に困っている人の為に支給あり免除とか考えていただきたい。(老人でも裕福な人はいます)

町の財政を考えると？

1人暮らしの世帯ではおとしん券はなかなか期限までには使えないそうです。米も含めて現金に交換してやったこともあります。子供世帯と一緒にすると、現金は本人でおとしん券は食費の足しにようにいただいていた。おちかであつかう券もありがたいですけど独居老人世帯にはおとしん券は？がつきます。現金金額はそのままでもおとしん券は廃止してもよいのでは！若い子供たちからは自分たちが払った税金だと言われます。ばらまきではなく災害復旧などの元資にとつ

ておいてもらいたいものです。

高齢者が多い中、町の心温まるご支援、感謝の気持ちでいっぱいです。少子化で大変な時ではありますが出来る限り現状のまま続けて欲しいと思います。

敬老祝い金について・・・おとん券は忘れて使用しないケースが増える。現金のみ支給が良い。年金生活者は支給が低いので。

高齢者に思いやりのある住みやすい小値賀町であってほしい

節目支給には記念品を支給してはどうか？

敬老パスは福祉事務所でいただけますか？

最近の物価高騰や消費税や社会保険などのアップで高齢者のほとんどが年金による生計、10年に比べ30%以上の値より上がらない年金や賃金に離島ゆえに働くところのなく（ハローワークが無い）町による会計年度任用も後期高齢者は国の定める定年制（原行では満65歳）にすべて不採用、十分に年金で暮らせると良いですが、非課税年金受給者に対し就労の機会を与えるか、一定額の給付を毎月支給するなどご支援くだされば小値賀町第4次健康づくり計画（健康おぢか21ダイジェスト版）に明記されている「みんながいつまでも健やかで心豊かにいきいきと生活するおぢか」のスローガンに添えると考えます。高齢化率50%を超えたおぢかは県下ワースト1位人口減少を愁いておりますが、元官僚のH氏によれば社会の人口減少基調は変わることがないとし、「貴重な時間に効果的な施策を集中的にすることが必要、地域の機能は維持し豊かに成長する人口減少地域にすることで魅力ある町となり人が集まり人口増加の原資となる観光などで魅力ある町となって町民の顔も笑みとなり現存する産業も盛んに高齢者の生活困窮は全国33%予備軍を含め44%かろうじて過半数を割っておりますが決して少ない数ではありません独居老人は900万人を越えました。」※「誰ひとりも置き去りにしない地域（共生）社会」を現実しましょう。

様々な老人福祉事業に感謝します。

敬老パスについて

- ・既得権益の剥奪又は減額については相当の反発があると想定しています
- ・運転免許返納促進の動きに反するのではないのでしょうか？
- ・上記関連で免許返納者には年齢に関わらず敬老パスを支給したらいかがでしょうか？（交通手段確保の観点から）

敬老祝い金について

- ・他市町が実施している如く節目の支給が妥当ではないかと思えます。その他この度のアンケートは老人総数の約半数しか対象者が居ないので集計結果が果たして町民の理解を得ることができるかどうか危惧しています。

地区の補助金を一人当たり14500円位にしてほしい。各地区大変です。

何かにつけて減額と言います。子どもの為に使うのが良いと思いますがその反面その金は親が贅沢しているようにも見えてきます。

老人会等各地区での対応が厳しい状況になってきている。現在なにかよいもようしはありませんか？又地区の対象者が施設などに入所して地区の対象者も減少してきている。

生活保護の方をもう少し周りの草取り位させるように考えてください。

バスの運賃等は有料で良いと思う。無料だとかえって乗りにくい。利用しにくい。最低100円はとっても良いと思う。

私の知っている老人の方は、祝金の内のおとん券はいらないと言う方が多いみたいです。お金ってあまり認識があるように思えません。

敬老の日の弁当支給について

頂くのに異論を唱える事に申し訳なさもあるが、食べにくかったり当日不在だったりで何となく違和感を感じる。それに変わる何か嬉しいやり方はないものかと思う。